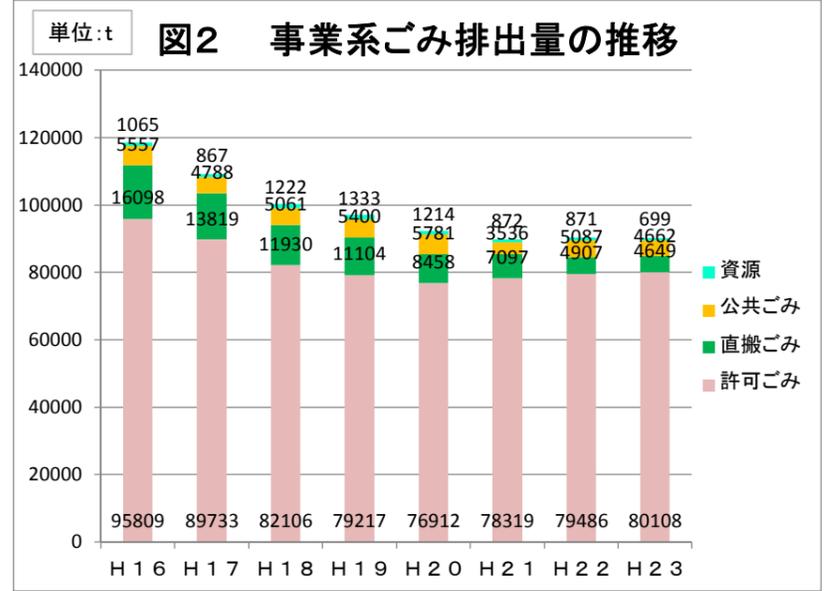
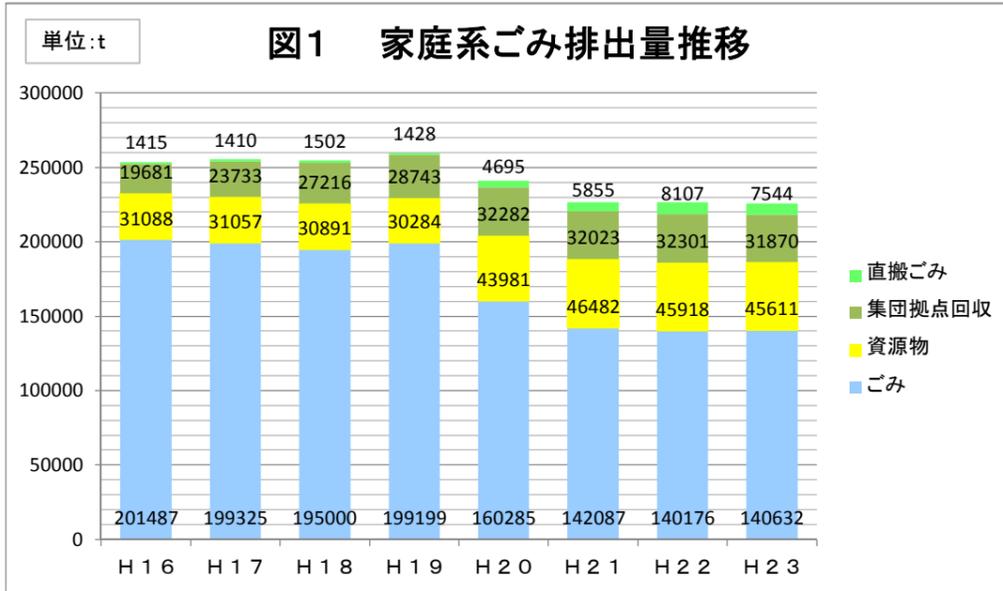


●家庭系ごみと事業系ごみの排出量の推移



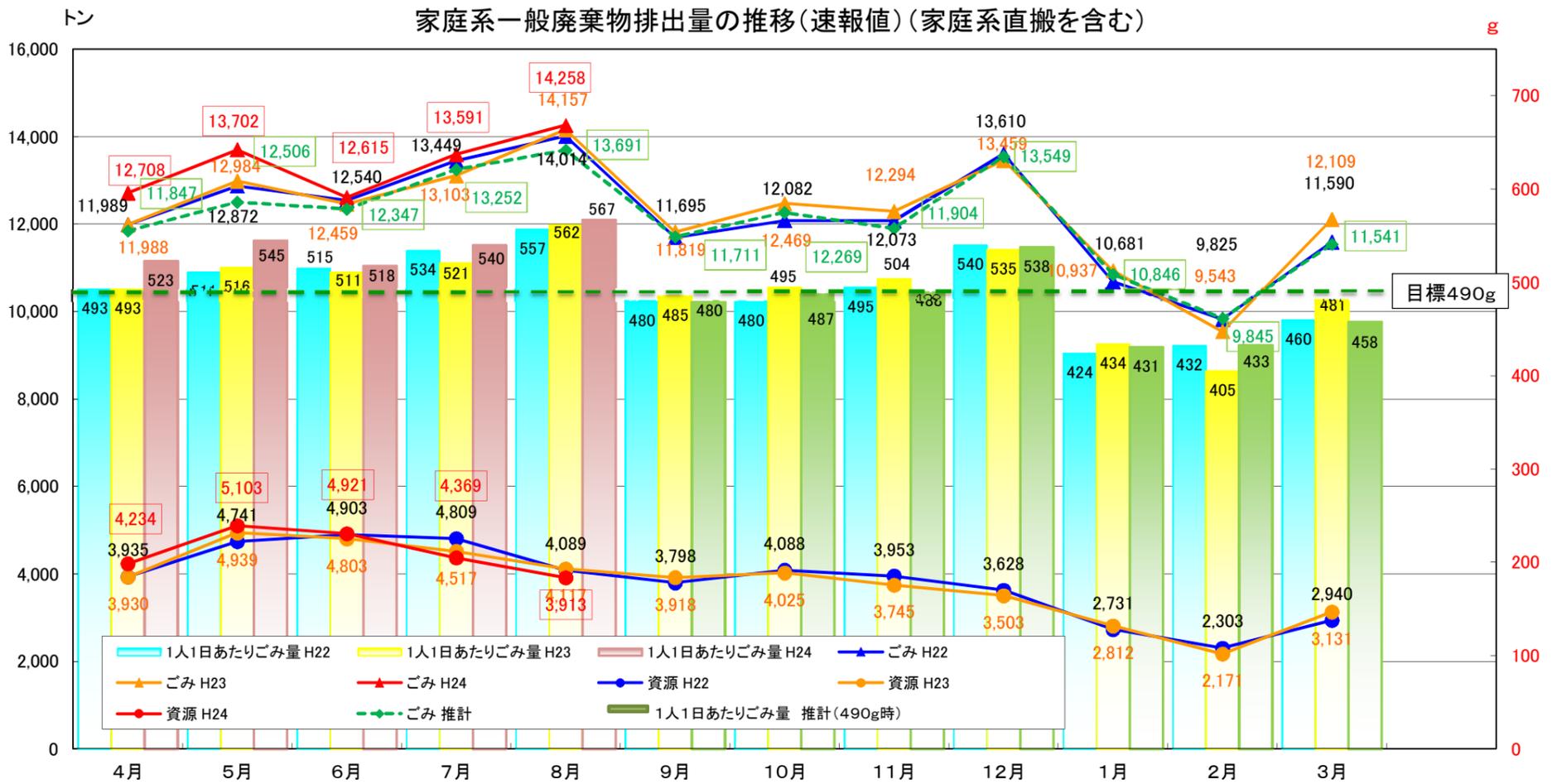
※ごみ…家庭系収集ごみ(燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ)  
 資源物…家庭系収集資源物(プラスチック容器包装、ペットボトル、びん、缶、有害危険物、古紙類、枝葉)  
 集団拠点回収…集団資源回収量と拠点回収量の合計  
 直搬ごみ…家庭系の処理施設への直接搬入ごみ

※許可ごみ…一般廃棄物収集運搬業の許可業者が排出事業者から委託され搬入したごみ  
 直搬ごみ…排出事業者が自ら処理施設へ搬入したごみ  
 公共ごみ…地域の清掃活動等による市道の側溝汚泥など  
 資源…堆肥化した学校給食残渣など

●リサイクル率

平成23年度:26.7%(平成22年度:27.0%(人口50万人以上の都市中第5位))

●家庭系ごみの月別排出量の推移



<平成24年度のごみ量について>

- ・平成24年度のごみ量集計から、従来の収集ごみに加え家庭系直接搬入ごみの量も加味している(上図においてはH22、23年度も家庭系直接搬入ごみを加味)
- ・平成24年度4月～7月の各月のごみ量(赤の棒グラフ)は前年度よりも増加しており、特に4、5月の増加量が顕著
- ・考えられる増加要因(分析中)
  - ⇒東日本大震災で冷え込んだ需要の回復
  - ⇒持ち去り防止条例の施行による持ち去りの減少(燃やさないごみ、缶などの増加)
  - ⇒ごみ処理施設への自己搬入地域の撤廃による自己搬入量の増加

【対応】市報にいがた、サイチョypress、ごみ減量・リサイクル推進月間(10月)における回覧等でリバウンドの兆候に係る周知を行うとともに、リデュース意識の啓発を強化する。